マイクロアグレッション研究会

代表:橋詰　幸輝（社研D2）
研究会メンバー:戸國真佐子（社研D2)・田中　秀典（社研M2）・田場太基（先端研M2)
河村太志郎（産業社会学部4回生）

【本研究会の目的】

我々は日常に潜むマイクロアグレッションについて興味を持ち、どのような無意識化の偏見や差別が存在し、それが我々の各研究分野においてどのような影響をもたらすのか、研究科を超えて実態を調査することにした。調査結果を各々の主研究に反映させ、マイクロアグレッションの視点からも考察して論じることができることが、当研究会の目的である。

【開催内容】

活動内容→文献の輪読、学会発表、論文投稿
本研究会では、マイクロアグレッションに関する文献を輪読を行っている。また、各自の実践現場で起きているマイクアロアグレッションについて研究し、その内容をまとめ学会で報告、投稿を行っている。

【研究業績】

[論文投稿(査読あり）]
・橋詰幸輝(2025),アルコール依存症からの回復プロセスに関する質的研究―断酒3年以上のアルコール依存症者の語りから―『立命館大学人間科学研究（3月掲載）』
・戸國真佐子・橋詰幸輝(2025)，社会福祉領域におけるマイクロアグレッション一依存症と重度障害領域での実践から一『人間福祉学会誌』
[論文投稿(査読なし）]
・Koki Hashizume, ”Research on Addiction Support in Japan: Focusing on the role of addiction recovery facilities”, International Postgraduate and Academic Conference2025.
[学会発表]
・橋詰幸輝(2024),アルコール依存症支援の現状と課題一スコーピングレビューを用いた文献研究―（日本アルコール関連問題学会）
・橋詰幸輝(2024),変化のステージ・変化のプロセスで捉える依存症支援一ステージに応じた支援方法の提案を目指して（日本保健医療行動科学会）
・戸國真佐子・橋詰幸輝・田場太基・河村太志郎(2024),多領域から捉えるマイクロアグレッション―依存症・障害福祉・部落研究の視点から一（対人援助学会）
・橋詰幸輝(2024),子ども・若者/大人の枠組みを超えた依存症支援を考える一依存症支援の現場から（日本子ども虐待防止学会）
・橋詰幸輝(2024),リカバリー概念とアルコール依存症支援一ステージ応じた支援方法の提案を目指して
・Koki Hashizume, Research on Addiction Support in Japan: Focusing on the role of addiction recovery facilities(International Postgraduate and Academic Conference2025)